

2015年度第2回強化審判研修会

鹿嶋サッカーフェスティバル2015ユースの部

日時 : 2015年8月12日(水)～13日(木)
場所 : アトンプレスホテル(ビデオクリップ研修)
ト伝の郷運動公園他(実技研修) 県立鹿嶋スタジアム

《ゲーム研修》・1日目:ト伝の郷運動公園 A グラウンド 9:30 Kick off 天候 晴れ
競技時間 70分

マ ッ チ:鹿嶋高校 対 常葉学園橘 7:0
前半 3-0 後半 4-0

R 飯島 AR1 土浦工業生 AR2 土浦工業生

アセッサー:鈴木昌氏 担当:R ゲーム内容:普通

〈ゲームに対する目標〉

手による不正なファール
寄り近くで判定し走りきる

〈アセスメント〉

不正な手のファールは早い時間帯での判定。

オフサイドの判定時、広い視野で見る。

争点以外のエリアを予測する。

他の競技者の走り、気づきを予測する。

《ゲーム研修》・1日目:ト伝の郷運動公園 A グラウンド 16:00 Kick off 天候 雨
競技時間 70分

マ ッ チ:八千代高 対 富山第一高 0:2
前半 0-1 後半 0-1

R 目黒氏 AR1 飯島 AR2 花嶋氏

アセッサー:犬飼氏: 担当:AR1 ゲーム内容:普通

〈ゲームに対する目標〉

手による不正なファール、レフリーの見えない所のファールサポート

〈アセスメント〉

特になし。

《ビデオクリップ研修》：

【Aグループ】 染谷氏 益子氏 門井氏 試合のビデオを見て

参加者； 橋本氏 染谷氏 目黒氏 益子氏 門井氏 飯島

アセッサー：犬飼氏、鈴木昌氏

テーマ

【ポジショニング】

ゴールキックからのポジショニング。

幅をとってポジショニングをとる。

アシスタント側によるタイミング。

ゴール前の争点のポジショニング。

以上の意見が出された。

《映像研修》：

映像解説

藤ヶ崎委員長

ポジショニング（振り返り）

状況の把握。

プレーの邪魔になっていないか。

FK時の立つ位置。

FK後をどうするのか。

笛を吹いた後のポジショニングとコントロール。

*フリーキックを蹴る選手が何を考えているのか？自分はどうしているのか？
適正ポジショニングにいるのか？考えながら感じながら行動するのが大切であるとの
お話をいただきとても共感しました。

今後、予測や気づきをもって試合に臨みたいと思います。

《ゲーム研修》・2日目：ト伝の郷運動公園 Aグラウンド 9:30 Kick off 天候 晴れ

競技時間 70分

マ ッ チ：富山第一高 対 西帰浦高 5：1

前半 1-1 後半 4-0

R 菊池氏 AR1橋本氏 AR2 飯島

アセッサー：粕谷氏： 担当：AR2 ゲーム内容：普通

〈ゲームに対しての目標〉

レフリーの见えない所のファールサポート、コミュニケーション

〈アセスメント〉

オフサイドの判定の際、横のステップを多く使うと良い。

1) 感想

2日間の研修会では主審（1試合）、副審（2試合）の担当をしました。

試合に入る前に 手による不正なファール・より近くで判定し走りきる、との目標で試合に臨みました。

手による不正なファールの部分ですが、早い時間帯での判定、先に手を出しているのに逆の判定にならないよう適切なポジショニングで事実を見極め、的確な判定をするように努めました。また、何か起きる。予測や気づきを持って試合を正しく進めることがとても重要で大切だと感じました。

副審ではレフリーの见えない所のファールサポートに心掛けました。

その為には、日々のトレーニングで90分間走りきり、色々な方々のご指導やアドバイスを前向きに受け入れ実践実行し、チーム茨城として恥じないレフェリングに努力していきます。

2) 今後の抱負

アセッサーの方々、ご指導ありがとうございました。

研修会で学んだことをこれからの試合でいかし、3級4級の審判員へ伝えていきます。

競技規則を深く理解し判定基準の一貫性を保ち予測、気づきをもってゲームを読みコントロールし、よりよいポジショニングで監視してサッカーの醍醐味を引き出せる伝えられるレフリーを目指し2級審判として日々精進していきます。今後も宜しくお願い致します。

また、とても有意義で充実した実りのある素晴らしい2日間の研修会でした。

是非、次回も参加したいです。

本当にありがとうございました。

2015年度 茨城県強化審判研修会 研修レポート

2015年8月12日～13日に開催された鹿嶋サッカーフェスティバルに強化研修会研修生として参加致しましたので、ここに研修レポートを提出致します。

研修会では実技研修で2試合主審を担当し、うち1試合は夜の全体研修でのビデオ分析担当試合でした。12日には大阪桐蔭高校対西帰浦高校の試合を担当致しました。西帰浦高校は韓国からの招待チームであり、日本語でのコミュニケーションが一切取れないので、まずは近いポジションで判定している姿を見せて、判定を受け入れてもらえるようにし、重要なシーンに関しては伝わるジャスチャーや平易な英語でのコミュニケーションを心がけました。またポジショニングに関してはアシスタントサイドへの寄りをテーマに試合に望みました。試合は3-2(0-2,3-0)で西帰浦高校が勝利しました。警告・退場は出ていません。前半は両チームともゆっくりとした展開で、ファウル数もさほど多くなく、レフェリーとしての見せ場はありませんでしたが、ファウルが少ない試合だからこそしっかりとした判定基準を持つことが大事だと考え、ファウルを探しに行かないように心がけコントロールしました。逆に後半は前半の試合とは打って変わって西帰浦高校が攻めこむ展開になりゴール前での攻防が増えました。後半入ってすぐに前半との温度差を感じる事が出来たので、ゴール前に攻め込むシチュエーションでは自分もできるだけ事象に近づき判断しました。途中選手同士熱くなり対立が発生しそうな場面もありましたが、結果劇的な逆転劇で非常に良いゲームになったと思います。

夜の全体研修ではグループで「ポジショニング」をテーマに設定し、県内研修会では初となるビデオ研修を実施致しました。試合へのテーマであったアシスタントサイドへの寄り方、追い方もディスカッションの話題となり、様々なフィードバックが得られたので非常に面白かったです。特にアシスタントサイドへ寄る際に寄りすぎてしまい、レフェリーサイドに展開が移った際に副審と同じ視点で監視をしてしまう場面が何度かあったのですが、あらかじめ距離を取っておいて、アシスタントサイドへ展開が移った瞬間にスプリントを効かせて寄るという意識を持っていれば、万が一レフェリーサイドにボールが流れてきてもその場で対応できるという意見が出て、非常に勉強になりました。その他にもアシスタントサイドへ寄るタイミングや、角度の作り方などを実際の映像を見ながら分析できたので非常に勉強になりました。

2日目には大阪桐蔭高校対千葉明德高校の試合の主審を担当致しました。この試合でも1日目の試合と同じテーマを設定し、ビデオ研修で出たアイデアを活かそうと思いました。結果的にこの試合では、アシスタントサイドへの寄りはある程度うまくいきましたが、そ

の他の動きはなかなかフィットせず、選手の邪魔になってしまう場面が多くありました。特に攻撃のスイッチが入って前線の選手にボールが収まった時に予期予測から近い距離に位置しているのですが、逆にそれが攻撃の展開を妨げてしまいました。アセッサー犬飼さんからは、先に入り込みすぎて巻き込まれるので、後追いの意識でポジションを取ればいいのではないかというアドバイスを頂きました。これまでは予期予測で近いポジションを取ることを主に考えてきましたが、試合によってはアジャストしていく必要があると思うので、後追いという選択肢も持っていきたいと思いました。

2日間の研修で様々な方々と交流を図る事ができ、また様々なご意見を頂くことが出来、非常に充実した研修会となりました。今回の研修会で得たものを今後の審判活動に活かしていきたいと思います。また最後になりましたが、研修会開催に際しご尽力頂きました藤ヶ崎審判委員長、岩瀬総務部長をはじめとする協会関係者の皆様、並びに大会運営にご尽力頂きました加藤大会委員長をはじめとする運営関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



2015年度 第2回 茨城県サッカー協会強化審判研修会

2015年8月12日～13日の2日間、鹿嶋サッカーフェスティバル2015ユースの部を利用して第2回強化審判研修会を開催しました。茨城県所属審判員40名、1級審判員を含む審判インストラクター20名の参加があり各会場に分かれての実技研修、ビデオ撮影によるビデオクリップディスカッションを会場グループごとに分かれ活発な意見交換が行われました。今後も各種研修会を通じて審判技術の向上及び審判員の育成を取り進めます。

(公財)茨城県サッカー協会 審判委員会
総務部長 岩瀬 浩一